

## 競技注意事項

### 1 規則

- ・本大会は2017年日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって実施する。  
※学校対抗の混成は、単独種目として通常のルールで行う。(一度の不正スタートで失格)

### 2 競技場

- ・主競技場の競走路(8レーン)及び助走路は全天候である。スパイクのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投のピンの長さは12mm以下とする。これらのスパイクピンの直径は、先端が4mm以内、スパイクピンの数は11本以内とする。走路の保全と競技者の安全のために、競技規則143条を厳守されたい。

### 3 練習

- ・練習はトラックの外側を使用する。ただし、跳躍競技・投擲競技の練習は競技開始40分前より、競技場内で役員の指示により行うものとする。
- ・競技運営に支障をきたさないかぎり、本トラックを一部開放する。ただし、役員の指示に従って行うこととする。

### 4 招集

- ・招集場所は、100mスタート地点後方に設ける。
- ・招集に遅れたものは、欠場とみなし出場を認めない。
- ・招集開始時刻及び招集終了時刻は以下の通り定める。

種目		招集開始時刻	招集完了時刻
トラック	150m、300m、600m、 1000m、3000m	50分前	20分前
リレー	4×200mR 100m+200m+300m+400mR	競技開始1時間前までに <b>招集所にオーダー用紙</b> を提出	
混成 (個人)	100m(男子1日目) 110mH(男子2日目) 100mH(女子1日目)	50分前	20分前
	走幅跳(女子2日目)	70分前	40分前
※第2種目以降は競技開始10分前に競技場で行う			
混成 (学校対抗)	<b>第1種目の競技開始50分前までにその日の種目の学校対抗オーダー用紙を本部に提出する。</b> なお、変更についてはエントリー用紙にて受け付ける。その後は各種目競技開始10分前に競技場で行う。		

- ・選手は出場種目の招集完了時刻までに、招集場所にてナンバーカードをつけたユニフォームを持参し、競技者係にチェックを受ける。
- ・選手は競技開始10分前に、各競技場所にて最終点呼を受ける。
- ・代理人による最終点呼は認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する選手はその事を本人または代理人が競技者係および出発係に申し出て了解を得ること。

### 5 ナンバーカード

- ・ナンバーカードは登録番号とし、顧問総会で配布した数字サンプルを使用して各自で作成して(男女とも黒字)2枚を胸と背につけること。ただし、走高跳参加の競技者は胸部または背部だけでもよい。男女共3000mは特別ナンバーカードを使用するので招集場所で受け取りレース終了後に返却すること。
- ・トラック競技は、招集場所で写真判定用の腰ナンバー標識を受け取り、右腰部やや後方につけること。(学校対抗、混成も含む)

### 6 トラック競技の組・走路順、フィールド競技の試技順

- ・トラック競技の組・走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選し、プログラムで示す。

### 7 リレー競技について

- ・オーダー用紙は招集場所で配布する。
- ・リレー競技に出場するチームのユニフォームは、4名統一したものを着用すること。

## 8 写真判定・電気計時

- ・トラック競技においては写真判定を採用する。

## 9 フィールド競技について

- ・フィールド競技の計測ライン及びバーの上げ方は、各審判主任の指示によるものとする。
- ・男子走幅跳・女子走幅跳はAピット(トラック側)、Bピット(スタンド側)で行う。

## 10 学校対抗混成について

- ・学校対抗混成は1校2名以上男子8名以内、女子7名以内で行う。
- ・各種目の記録を混成競技得点表より得点化し、合計得点で競う。
- ・当日朝の招集時に選手の変更を認める。ただし、学校対抗混成にエントリーしている選手に限る。
- ・チームの事情により、スタートできない種目があっても、チームは失格とならない。

## 11 用具

- ・競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用しなければならない。
- ・ただし、砲丸、やりについては検査を受けて承認されたものに限り、個人所有のものが使用できる。(すべての検査は1日目は9:30、2日目は9:00までに用器具倉庫内にて行う。)なお、検査を受ける用具は日本陸上競技連盟の検定品であること。

## 12 抗議と上訴

- ・競技規則146条によって行う。

## 13 欠場

- ・各種目にやむを得ず欠場をする者は、招集完了時刻までに招集場所競技者係まで申し出ること。

## 14 その他

- ・競技中の疾病・傷害などの応急処置は主催者側で行う。
- ・プログラムに誤記がある場合には、速やかに本部に申し出ること。
- ・参加各校の顧問は、競技役員または補助役員を必ずおこなう。
- ・参加各学校より1名以上の補助員を出し、本部前に集合させること。
- ・参加選手についてもフィールド競技の準備等についてできるだけ協力すること。
- ・本大会に不明な点がある場合には、顧問または生徒の代表が本部まで問い合わせること。
- ・メインスタンドでの部旗、横断幕等の設置は禁止とする。
- ・競技運営に支障をきたす応援は慎むこと。(特にフィールド競技中の集団応援等)
- ・競技場内での付き添い及び応援は一切禁止する。
- ・競技場内に商品名、会社名のついた物を持ち込むことはアマチュア規定に抵触するので厳に慎むこと。
- ・貴重品は各自で保管し、紛失には十分注意すること。
- ・ビデオ、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない。(競技規則144条)
- ・ごみについては持ち帰りを原則とする。
- ・競技場の開門は両日とも7時30分(予定)とする。それ以前には入場しない。(競技場の状況によっては開門時間が早くなる場合がある。) 競技終了後は、速やかに退場すること。

## ☆ 安全対策について

- ・競技会に参加の競技役員、選手、補助員以外はトラック、フィールドに立ち入らない。
- ・本競技場での練習は決められたレーンを守り常に安全確認を怠らない。  
1, 2, 3レーンは周回練習に使用し5, 6, 7, 8レーンはスプリント練習等で使用する予定です。
- ・周囲の安全を確認し、審判員・顧問の指示に従い事故防止を何よりも優先する。
- ・トラック、フィールドともに横断する際には周囲の安全確認をおこなう。
- ・ウォーミングアップの際、事故防止の為に、必要な声の掛け合いをおこなう。
- ・投てき物を持った状態での空ターンや助走練習は、公式練習以外では行わない。
- ・投てき物(やり等)の回収の際も周囲の安全に十分に配慮すること。
- ・チューブ等を使用しての練習は安全面から行わない。

## 【不入斗競技場について】

- ・待機場所としてテント設置可能区域は、スタンド後方およびスタンドのみとする。ただし、写真判定室周辺および本部ダックアウトから3ブロックはテントの設置を禁止する。
- ・不入斗公園内のプール・体育館・野球場周辺を待機場所には絶対にしないこと。